

ヒアルロン酸				7010100	
				担当部署	
ヒアルロンサン				生化	
検査オーダー					
患者同意に関する要求事項		特記事項なし			
オーダーリング手順	1	電子カルテ→指示①→検査→*1.頻用→			
	2	電子カルテ→指示①→検査→*2.分野別→生化学→			
	3				
	4				
	5				
検査に影響する臨床情報		特記事項なし			
検査受付時間		8 : 15～16 : 00			
検体採取・搬送・保存					
患者の事前準備事項		特記事項なし			
検体採取の特別なタイミング		特記事項なし			
検体の種類		採取管名	内容物	採取量	単位
1	全血	10 青	分離剤	8	mL
2	-	-	-	-	-
3	-	-	-	-	-
4	-	-	-	-	-
5	-	-	-	-	-
6	-	-	-	-	-
7	-	-	-	-	-
8	-	-	-	-	-
検体搬送条件		室温			
検体受入不可基準		1)採取容器違いの検体 2)バーコードラベルの貼られていない検体 3)固形物 4)粘性のある検体			
保管検体の保存期間		冷蔵・2 週間(追加検査については、検査室に要問合せ)			
検査結果・報告					

検査室の所在地		病院棟 3 階 中央検査部			
測定時間		当日中～翌日			
生物学的基準範囲		50ng/mL 以下 日本臨床第 7 版 1, 252,2009			
臨床判断値		設定なし			
基準値					単位
					ng/mL
共通低値	共通高値	男性低値	男性高値	女性低値	女性高値
0	50	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし
パニック値	高値	設定なし			
	低値	設定なし			
生理的変動要因		特記事項なし			
臨床的意義		ヒアルロン酸(hyaluronic acid:HA)は N-アセチルグルコサミンと D-グルクロン酸が鎖状に結合した高分子量のの酸性ムコ多糖体である。 主として線維芽細胞や、肝で産生され、肝細胞により代謝を受けて血中から消失する。 ヒアルロン酸は生体内でプロテオグリカンとしてまた細胞間ではマトリックスとして細胞の維持に不可欠な物質である。 すなわちムコ多糖類に見られる粘調性を生かし結合組織における水分や電解質の保持、抗凝固作用を担う物質の一つがヒアルロン酸である ヒアルロン酸は肝硬変、特にアルコール性肝硬変で高値を示し、急性・慢性肝炎、アルコール性脂肪肝ではあまり上昇しない。 一方、悪性胸膜中皮腫で胸水中のヒアルロン酸が高値になることがある。 本疾患での胸水細胞診や胸膜生検では必ずしも悪性細胞が得られないことがあるためそのようなケースにおいては胸水中ヒアルロン酸測定は大変有用である。 三菱化学メディエンス 検査項目解説 改訂第 4 版 55			